ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

西暦　2025 年 4 月 1 日　第 2.4 版

研究課題名	非アルコール性脂肪性肝炎患者の末梢血より樹立した iPS 細胞を用いた発症機序解明、創薬開発へ向けた基礎的研究
研究の対象	横浜市立大学附属病院に通院される方のうち、脂肪肝及び非アルコール性脂肪性肝炎の診断基準を満たし、十分な説明の上で研究の協力に同意が得られた方
研究目的・方法	本研究の目的は非アルコール性脂肪性肝炎発症・進展メカニズムの解明や創薬に向けて、非アルコール性脂肪性肝炎患者・脂肪肝患者から疾患 iPS 細胞を樹立して、発症メカニズムを解明することです。 非アルコール性脂肪性肝炎・脂肪肝の方から提供していただいた末梢血から単核球を採取し、遺伝子導入により iPS 細胞を樹立します。樹立した iPS 細胞を成熟肝細胞等へ分化誘導し、診断のために採取された同一患者の肝生検標本等と比較しながら、表現型を解析します。また、樹立した iPS 細胞の遺伝子変異を検討し、NASH 発症メカニズム解明や創薬スクリーニングに応用します。
研究期間	西暦 2016 年 11 月 7 日　～　西暦 2028 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	外来通院または入院中の通常の血液検査に合わせて血液を採取します。また非アルコール性脂肪性肝炎の診断に用いられた肝生検検体の残余を一部、使用します。
外部への試料・情報の提供	提供していただいた血液から樹立した iPS 細胞の遺伝情報や代謝情報などを正確に解析するため、細胞抽出物を専門の測定技術を持つ横浜市大外の施設（タカラバイオ、アゼンタ、レリクサ、KOTAI バイオテクノロジーズ等）に搬送し、マイクロアレイ解析・ゲノム解析・メタボローム解析等を実施します。また、iPS 細胞の樹立を樹立専門機関(iPS ポータル等)で行うことがあります。樹立する iPS 細胞、遺伝子情報は医学研究の貴重な資源となるため、製薬会社や他の研究機関に提供する場合があります。
研究組織	横浜市立大学医学部　肝胆膵消化器病学 臓器再生医学

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、検体等の提供者もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004　横浜市金沢区福浦 3-9
横浜市立大学医学部　（研究責任者）肝胆膵消化器病学　米田　正人
（個人情報管理者）肝胆膵消化器病学　岩城　慶大
電話番号：045－787－2800（代表）　FAX：045－787－2866